

# 当初予算概要

発行元 湖南省 財政課 2月20日 月曜日

## 基礎的財政収支黒字化へ

### 財源配分ハコモノから人材支援へ

湖南省は2月20日、平成29年度当初予算案を公表した。新年度は、地域や市民の魅力を引き出し、まちに好循環をもたらすための地方創生推進交付金活用事業を新たに計上する。財政面では、過去に積極的に実施した投資的事業の公債費が増加したものの、新年度では緊急性のない事業を先送りし、新たな地方債の発行額を抑制したため、基礎的財政収支は5年ぶりの黒字となった。

## 投資的事業費を抑制

市は歳入歳出総額を前年度比▲3・2%の219億8千万円とし、過去最大となった前年度に次ぐ予算規模となった。平成29年度当初予算編成方針では、少子高齢化による扶

### 戦略的投資で好循環

## 総合戦略本格稼働

湖南省総合計画を具体的に動かす新しい地域活力を生み出すための「きらめき・ときめき・元気創生 総合戦略」の推進により、地方創生推進交付金活用事業を新たに予算化した。その財源としては、事業費の2分

### まちづくりは 市民主体で

本市は市民の潜在力を引き出すことで、好循環を生み出す仕組みづくりを行う。まず、好循環をもたらすための土台として、既存のまちづくり協議会を通じての活動により、まちへの

となる地方債も発行額が減少し、借金の借入や返済、貯金の取崩しや積立金を除いた収支バランスを示す基礎的財政収支(プライマリバランス)については、借入金額が地方交付税として歳入になる臨時財政対策債を除くと、3億8千1百万円の黒字となった。基礎的財政収支の黒字化は、平成24年度当初予算以来5年ぶりとなる。また、予算規模は年々高止まりの傾向にあり、新年度も子育て支援新制度による施設型給付費や過去の借金の借換により4億円を計上したため、予算規模を押し上げる要因となった。

歳出予算の対前年度比較で大幅な増減があった性質別歳出では、物件費が新規事業である病児保育事業委託1千5百万円、ため池ハザードマップ作成業務委託1千万円、企業家を支援する経費であるローカルベンチャー事業委託1千万円の増額があるが、物流拠点事業化計画検討委託▲2千1百万円や各種計画策定事業の完了により、全体として1億8百万円(▲2・8%)の減額。扶助費は、保育対

## 歳出は特定財源を重視

策等促進事業補助金2千4百万円、障がい児通所給付費等1千3百万円、障がい福祉サービス費1千万円の増額はあるが、臨時特別給付費給付事業給付金▲4千1百万円等により、全体としては1億8千万円(▲4・8%)の減額となった。補助費等は、子育て支援新制

る。さらに、子育て支援施設「ここぴあ」との相乗効果を図るため、隣接地に体験農園と農家レストランの建設費2億9千万円を計上した。また、スポーツ振興くじ助成金を財源に、改築した石部小学校のグラウンドを芝生化し、子どもたちに良い環境をつく

「市民のきらめき・ときめき・元気創生」の目覚めから好循環を創生！戦略的投資でまちの未来をつくる」を新年度予算の基本テーマとし、本市の未来がさらにめき湖南であるため、新たな市民主体のまちづくりに挑戦する。

「きらめき・ときめき・元気創生 総合戦略」主な地方創生推進交付金活用事業

| 地方創生推進事業名  | ※(新)→新規事業 | 予算(千円) | 事業内容                                     |
|--|-----------|--------|--|
| 【観光】(目的)観光客の誘致、滞在時間、消費を増加させ、第3次産業の活性化につなげる。          |           |        |  |
| (新)地域観光資源活用事業補助金                                     |           | 6,000  | 湖南三山めぐりの宣伝広告、ハイキングコース整備等                 |
| (新)観光情報発信事業補助金                                       |           | 2,000  | 動画コンテンツを活用したパンフレット作成等                    |
| (新)創業支援事業補助金   |           | 1,000  | 空き店舗データと創業希望者のマッチング等                     |
| (新)湖南省ブランド化事業  |           | 463    | 効果的なシティブロモーションのための広報アドバイザー等              |
| 【農福連携】(目的)幅広い人にとって働く場を確保し、農業振興、高齢者の健康・生きがいづくり等につなげる。 |           |        |  |
| (新)シルバー健康農業塾事業                                       |           | 800    | 高齢者を対象に野菜づくりの学習・実践を行う農業塾の実施              |
| (新)みらい公園(湖南)チャレンジ農園実践事業                              |           | 5,300  | 農地を期限付きで貸付け「はたけの先生」を派遣する事業を実施            |
| (新)障がい者等就業支援事業委託                                     |           | 2,000  | 農作業をサポートする「農業ジョブトレーナー」の育成                |
| 【まちづくり】(目的)市民主体のまちづくりにより市民の郷土への愛着心を醸成し、働き手となる人口を確保。  |           |        |  |
| (新)地域活性化先進モデル交付金                                     |           | 7,000  | まちづくり協議会が地域課題の解決等のために取り組む事業をメニュー化した新型交付金 |
| (新)次世代参画まちづくり提案事業                                    |           | 3,500  | 市内在住の若者等による政策コンテストの実施                    |
| 【人材育成】(目的)地域で働く人口を増加させ、企業や地域の持続的な発展につなげる。            |           |        |  |
| (新)人材育成支援事業委託  |           | 600    | ワークライフバランス、在宅ワーク等の取組を推進するセミナー            |

### 公債費急上昇

本年度の地方債の元金返済額は前年度比較で約1・5億円の増加となった。平成29年度末の地方債残高は284億6千万円であり、市民一人当たりの負担額は51万円となる。地方債総額のうち約7割は、国から地方交付税としての措置を見込むが、財政上有利な地方債である旧町合併後のまちづくりのために発行が認められた旧合併特例事業債の発行可能額が約9億円(当

